

平成29年度事業報告

平成29年度は、DCA資格制度を中心とした人材育成事業の拡張・普及を図り、青少年のネットリテラシー強化に向けた教材開発・啓発活動を推進した。

1. 人材育成事業

科目認定資格認定者数

総数 540 名（平成 26 年度 81 名、27 年度 126 名、28 年度 175 名、29 年度 158 名）

DCA 3 級科目認定資格取得者数（3 月 26 日現在）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	計
青山学院大学	17	17	5	0	39
東京工科大学	34	25	27	40	126
千葉商科大学	30	34	21	37	122
東北福祉大学	0	50	39	79	168
埼玉工業大学	0	0	83	0	83
会員企業				2	2
合計	81	126	175	158	540

- ・ DCA 2 級・3 級資格認定制度の運用
- ・ DCA 教育実施機関における科目認定プログラムの承認
- ・ DCA 資格取得希望者からの認定書類の審査
- ・ 新規 DCA 教育実施機関に対する導入支援
- ・ 専門学校向けに「科目認定プログラム」を適用できるように、IT パスポート資格取得者に対し、科目認定を一部免除することにした（添付資料 1-1 参照）
- ・ 企業向け DCA 資格認定コースの提供（日本エンタープライズ、コーエーテクモゲームスにて各 1 名認定）

② DCA 委員会活動

- ・ DCA 資格制度運用（月例で開催）
- ・ 他資格免除 WG 活動（科目免除の対象調査・制度策定）
- ・ 2 級 WG 活動（2 級制度の運用と導入支援）

③ アセッサ認定者への DCA 3 級付与と研修実施

- ・ アセッサ取得済みの会員に向けた DCA 資格付与・研修を 4 月よりスタート。案内を送

付した結果、2名の認定（日本エンタープライズ社、コーエーテクモゲームス社）を行った。

④ DCA eラーニング教材開発

- ・一般向けのDCA3級eラーニング用教材コンテンツの制作をI-ROI主導で開発。
- ・富士通ラーニングメディアと共創の形で、教材コンテンツの配信に関し基本合意を行った。コンテンツ開発を3月20日までに終了し、動画撮影を4月12日・16日に実施。5月一杯で開発とモデル構築を終え、6月よりサービスインの予定。（添付資料1-2参照）

⑤ 文部科学省29年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」への支援

- ・埼玉工業大学を幹事校としてDCA参加校とI-ROIとで連携し、教材開発や研修を実施。2月28日に埼玉工業大学において、文部科学省の文部科学省高等教育局専門教育課係長を招き、成果報告会を行った。

2. 調査研究事業

① 「29年度子どもゆめ基金助成金教材開発・普及活動」

- ・低年齢向けネットリテラシー教育教材「みんなで考えよう！ インターネット安心安全教室」を受託。開発内容は、幼児を含めた低年齢向けネットリテラシー啓蒙活動に使える教材の開発を目的に、教育アナリストの尾花紀子氏・柏市教育委員会西田正昭氏を中心に開発を行った。
- ・3月31日までに、子どもゆめ基金への報告と、サービスインをすることにより、プロジェクトの完了となる。（添付資料1-3参照）

3. 普及啓発活動

① 各種啓蒙活動

- ・関係省庁・安心協および教育IT関係団体が主催する「高校生ICTカンファレンス」「情報教育セミナー」などに各種イベントに積極的に参加。長野県・宮城県で開催された「高校生ICTカンファレンス」にも講師を派遣した。

以上